

歯科医学入門 1

責任者名：林 誠

学期：前期

対象学年：1年

授業形式等：演習

◆担当教員

林 誠(歯科保存学Ⅱ 教授)

新井 嘉則(歯科放射線学 教授)

宮崎 真至(歯科保存学Ⅰ 教授)

武市 収(歯科保存学Ⅱ 教授)

佐藤 秀一(歯科保存学Ⅲ 教授)

飯沼 利光(歯科補綴学Ⅰ 教授)

月村 直樹(歯科補綴学Ⅱ 准教授)

小峰 太(歯科補綴学Ⅲ 教授)

佐藤 貴子(口腔外科学Ⅰ 専任講師)

米原 啓之(口腔外科学Ⅱ 教授)

岡 俊一(歯科麻酔学 教授)

植田 耕一郎(摂食機能療法学 教授)

本吉 満(歯科矯正学 教授)

菊入 崇(小児歯科学 教授)

野間 昇(口腔内科学 教授)

今村 佳樹(口腔診断学 特任教授)

◆一般目標 (GIO)

歯科医学・医療一般についての基本的な知識を得るとともに、将来なるべき歯科医師としての責任と役割について歯科医療の現状や社会環境から理解をし、歯学部学生としての学修態度を身につける。

◆到達目標 (SBOs)

- ・社会で望まれている歯科医師の責任と役割を述べることができる。
- ・歯科医療を取り巻いている社会環境について述べるができる。
- ・歯科医療の担う役割を述べるができる。
- ・自らの将来像を述べるができる。

◆評価方法

本教科は演習であるため積極的な授業態度が求められる。小テストとグループで行うワーク（グループレポートの作成・提出）の両面から評価を行う。

1. 毎回の授業で行う小テスト（20%）。個人成績として評価する。小テストの提出がなかった場合は欠席となり点数がつかないので注意すること。
2. グループレポート（80%）。個人のグループ作業への貢献度を以下の項目について評定を行う。①グループミーティングへの出席、②グループレポート作成のための資料の提出、③レポート作成における参画度、④レポート発表の際の貢献度、⑤成果物としてのレポート内容

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
林 誠	火曜日 17:00～18:00・保存学II研究室 (本館6階)	hayashi.makoto53@nihon-u.ac.jp	オフィスアワーの利用に関しては、教科担当責任者に連絡を取ること。

◆授業の方法

歯科医師という職業を理解し、自らの歯科医師像をアクティブラーニングによって具現化する。グループ内で疑問点について調査しグループレポートをまとめることで、医療人としての共同作業の必要性を認識する。

実際の授業は、2時間連続となり、1時間目は講義を行い、2時間目には小テスト後にグループレポートについて発表を行う。

【実務経験】

担当者は各臨床系歯学の専門の立場から日本大学歯学部附属歯科病院で診療にあたっているため、歯科医師という職業について日々の臨床を通じて説明する。

◆アクティブ・ラーニング

<小テスト>

授業回の翌週に当該授業内容に関する小テストを実施する。

<グループワーク>

事後学修として、グループレポートを課す。グループレポートは、講義に際して提示された課題について、グループで協力して情報を収集し、レポートにまとめて提出する。グループレポート作成に際しては、各班に指導役の教員（タスクフォース）を配置する。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
プリント, pdf の配布				

◆DP・CP

コンピテンス1：歯科医師としてのプロフェッショナリズム

コンピテンス4：歯科医学および関連領域の知識

コンピテンス：1-1, 1-2, 4-5

対応するディプロマ・ポリシー：DP1, DP-4

◆準備学習(予習・復習)

講義内容に関連する新聞記事や本、Webコンテンツを読んでおくと理解が深まる。

◆準備学習時間

授業時間半分相当を充てて予習あるいは復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

自主創造の基礎（第1学年・前期）

歯科臨床早期見学実習（第1学年・後期）

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.10	2 ～ 3	学修のガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医学入門1の受講方法を理解する。 ・ 本邦における歯科医師養成について理解する。 ・ 授業の要点についてノートテークができる。 	林 誠	PR プロフェッショナルリズム
2		4.17	2 ～ 3	歯科放射線学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科放射線学で学修する内容についてノートテークができる。 ・ グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	新井 嘉則 林 誠	D-2-5 画像検査を用いた診断
3		4.24	2 ～ 3	保存修復学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保存修復学で学修する内容についてノートテークができる。 ・ グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	宮崎 真至 林 誠	D-5-2-1 齲蝕とその他の歯の硬組織疾患の診断と治療
4		5.1	2 ～ 3	歯内療法学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯内療法学で学修する内容についてノートテークができる。 ・ グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	武市 収 林 誠	D-5-2-2 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療
5		5.8	2 ～ 3	歯周病学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯周病学で学修する内容についてノートテークができる。 ・ グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	佐藤 秀一 林 誠	D-5-2-3 歯周疾患の診断と治療
6		5.15	2	総義歯補綴学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総義歯補綴学で学修する内容につ 	飯沼 利光	D-5-3-2 可

			～ 3		いてノートテーキングができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。	林 誠	撤性義歯
7		5.22	2	局部床義歯学 (3時限目は7時 限目に移動する。)	・局部床義歯学で学修する内容についてノートテーキングができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。	月村 直樹	D-5-3-2 可 撤性義歯
7		5.22	7	局部床義歯学	・局部床義歯学で学修する内容についてノートテーキングができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。	林 誠	D-5-3-2 可 撤性義歯
8		5.29	2	クラウンブリッジ 補綴学 (3時限目は7時 限目に移動する。)	・クラウンブリッジ補綴学で学習する内容についてノートテーキングができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。	小峰 太	D-5-3-1 固 定性補綴装置 による治療
8		5.29	7	クラウンブリッジ 補綴学	・クラウンブリッジ補綴学で学習する内容についてノートテーキングができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。	林 誠	D-5-3-1 固 定性補綴装置 による治療
9		6.5	2	口腔外科学 (Part 1) (3時限目は7時 限目に移動する。)	・臨床医学で学修する内容についてノートテーキングができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。	佐藤 貴子	D-3-1 口 腔、顎顔面領 域の疾患の病 態、診断、治 療

9		6.5	7	口腔外科学 (Part 1)	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床医学で学修する内容についてノートテキングができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	林 誠	D-3-1 口腔, 顎顔面領域の疾患の病態, 診断, 治療
10		6.12	2 ~ 3	口腔外科学 (Part 2)	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔外科学で学修する内容についてノートテキングができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	米原 啓之 林 誠	D-3-1 口腔, 顎顔面領域の疾患の病態, 診断, 治療
11		6.19	2 ~ 3	歯科麻酔学	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科麻酔学で学習する内容についてノートテキングができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	岡 俊一 林 誠 今村 佳樹	D-1-2 麻酔・除痛法
12		6.26	2 ~ 3	歯科矯正学	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科矯正学で学習する内容についてノートテキングができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	本吉 満 林 誠	D-5-5 不正咬合の治療
13		7.3	2 ~ 3	摂食機能療法学	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食機能療法学で学習する内容についてノートテキングができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	植田 耕一郎 林 誠	D-5-7 高齢者の歯科治療
14		7.10	2 ~ 3	小児歯科学	<ul style="list-style-type: none"> ・小児歯科学で学習する内容についてノートテキングができる。 ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 	菊入 崇 林 誠	D-5-6 小児の歯科治療
15		7.24	2	口腔内科学	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔内科学で学習する内容について 	野間 昇	D-3-1 口

			～ 3	<p>てノートテーキングができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループにおいて授業における疑問点を抽出し、その疑問点について、調査し、レポートをまとめることができる。 ・歯科医学入門1を受講した後の意識調査を行う。 	<p>林 誠 今村 佳樹</p>	<p>腔, 顎顔面領域の疾患の病態, 診断, 治療</p>
--	--	--	--------	--	----------------------	-------------------------------